

2014年度 前期								リフレクションペーパー	
学科名		電気通信工学科							
科目名		電気機器							
科目区分		専門科目		単位数	2	開講時期	3年次前期		
必修・選択の別		選択科目(組込みシステムコース)/必修科目(電気エネルギーコース)/選択科目(情報システムコース)							
担当者		喜屋武 毅							
授業の到達目標 (シラバスから)		・直流発電機と直流電動機の原理を理解し、分巻機と直巻機の特徴が記述できる。(A2) ・変圧器の原理(電磁誘導)を理解し、等価回路を用いて特性計算ができる。(A1,A2) ・交流機の回転磁界の発生方法が記述できる。(A1) ・誘導電動機の原理を理解し、速度特性が記述できる。(A1,A2) ・同期発電機・電動機の原理を理解し、発電機の出力特性と電動機の位相特性が記述できる。(A1,A2)							
日程と内容		04/09 電気機器の概説と電磁気の復習 04/16 直流器の構造・原理 04/23 直流発電機の種類、特性と用途 04/30 直流電動機の理論と特徴 05/07 直流電動機の始動方法と速度制御・定格 05/14 変圧器とリアクトル・(演習1) 05/21 変圧器の構造と理論 05/28 変圧器の特性(電圧変動率・インピーダンス電圧) 06/04 変圧器の特性(損失・効率) 06/11 三相誘導電動機の原理と構造、理論 06/18 三相誘導電動機の等価回路と特性・(演習2) 06/25 三相誘導電動機の運転法 07/02 三相誘導機の円線図 07/09 三相同期発電機の原理、構造と等価回路 07/16 三相同期発電機の特徴・総合演習 07/24 定期試験							
成績評価基準		定期試験	60%	実技	0%				
		臨時試験	0%	部外評価	0%				
		報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%				
		課題	20%						
		演習	20%	計	100%				
授業到達目標の達成度		概ね到達目標は達成できたが、三相同機器の一部が不十分である。							
反省点		前年度の反省を踏まえ、講義内容に電気機器全体を包括的に網羅するするように努力した。毎年、三相同機器の詳細なところが時間的に厳しくなり省かれぎみなので、さらに講義内容を精査して全範囲を網羅できるように努める。講義内容を理解しやすいように工夫したが、さらに内容を噛み砕いて講義する必要がある。							
来年度の計画		授業内容に関しては現状の削減予定はないが、後半の部分(同機器)を十分解説できるように、講義内容を精査して授業計画を立てるようにする。また、学生の講義に対する興味をさらに引きあげ、学生が自主的に予習・復習を行いやすいような授業構成とし、演習問題を増やして学生の向上意欲を引き出したい。							
授業評価アンケートに対するコメント		前年度に対して、評価ポイントがすべてのアンケート項目で上昇していることから、学生の授業に対する満足度が上昇したと受け止めている。特に、アンケートの結果から授業の理解度を図る設問1の平均点(3.5→4.1)や授業への興味度を図る設問6の平均点(3.8→4.3)などの項目が高評価になったことから、講義内容に興味を引き、内容の理解度向上に繋がっていると考えられる。さらに学生の興味を引き出せるような講義になるように努める。							
履修登録者数		46 名	定期試験 受験者数	39 名	合格者数	36 名	合格率	92%	